

英語コミュニケーションI (1年)

佐賀西高校 納富 繁見 教諭



(1) 本時の目標

話すこと [やりとり]	<ul style="list-style-type: none">身近な人物を描写して相手に伝えることができる。世界的なリーダーについて情報を共有することができる。自分の考えや気持ちを相手についたえることができる。
聞くこと	会話の概要を理解することができる。
書くこと	リーダーの資質についての情報や自分の意見を単語や文で簡潔に書くことができる。

(2) 1人1台端末活用ポイント

- 生徒が自身で作成したスライドを見せながら、クラスメイトを英語で描写する
- オンラインアプリを利用して生徒の意見を収集し、電子黒板提示に提示することで全体で共有する

(3) 授業の流れ

1時間目 (全8時間)

導入	展開	まとめ
<p>① あいさつ</p> <p>② Guess who he/she is 形容詞や動詞句を用いて人物を描写させる。 (1)クラスメイトを描写 (2)クラスメイトを描写する形容詞を共有 (3)本校の3人の先生を描写 (4)その先生を描写する形容詞を共有</p> <p>③ 本校の3人の先生の共通点を考えさせる。</p>	<p>④ Guess who he/she is 教科書に出てくる写真の人物について簡単な英語で描写させる。</p> <p>⑤ その人物がどんな人物か簡単な英語でヒントを与える。</p> <p>⑥ リスニング (1)概要把握⇒ペアで確認 (2)設問に解答 (3)スクリプトで確認 (4)apartheidについての情報共有</p>	<p>⑦ 教科書内のQuestionやPersonal Reactionに解答</p> <p>⑧ 課題の確認</p>

➤ 詳細は2面参照

詳細は、今後「SAGA Eコネクト」サイトに掲載予定です。
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

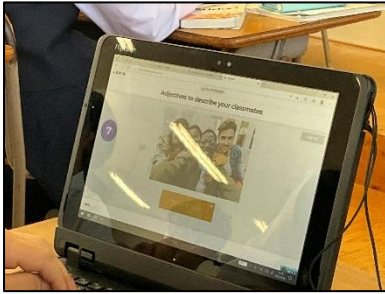
導入②(1)



この人は誰でしょう？

- ペアを組みます。
- 片方の生徒が、あるクラスメイトについて英語で話します。端末にもその情報を表示し、視覚的なサポートをします。
- もう一方の生徒が、その情報を基にそのクラスメイトを推測します。

導入②(2)



生徒は、オンラインアプリ：Kahoot! (カフート) を使い、クラスメイトを描写するときに使った「形容詞」を入力

入力した「形容詞」が電子黒板に表示され、クラスで共有

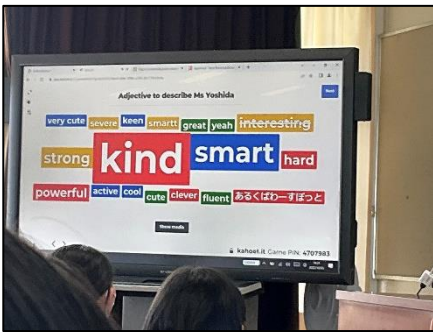


導入②(3)



- 電子黒板に、身近な先生を順に3人提示する。
- ペアで、その先生について英語で話す。

導入②(4)



- それぞれ、その先生を描写するときを使用した「形容詞」等を、生徒は端末を使い Kahoot! に入力
- 入力された「形容詞」を電子黒板で共有し、多様な人物描写（表現）に触れる。
- その後、提示された3人の先生の共通点を推測する。

まとめ

令和4年10月5日（水）佐賀西高校にて、納富繁見教諭による英語コミュニケーション I を実施されました。

納富先生の発問で、生徒同士が英語による意見交換しながら授業が進行していくスタイルでした。

今回、Kahoot! というオンラインアプリを使用することで、①オンライン上にクイズを作り、②先生と生徒と結果を共有、③結果は、視覚・デザインのわかりやすく、④匿名で回答なので生徒は心理的に安心といったメリットがあります。

また、回答結果を共有することで人物を描写する英語の表現が生徒の中で活性化され、次の人物描写にも使用されていました。先生も生徒も終始、英語の声で溢れる授業でした。